

ごあいさつ

近年、少子高齢化や核家族化の進展、生活様式の多様化等により地域のつながりが希薄になる中で、「誰もが健やかで安心して暮らし続けられる地域づくり」を進めていくためには、地域住民や公私の社会福祉関係者が相互に協力し、複雑化・多様化する様々な福祉課題の解決に取り組むことが重要になっております。



このような中、本市では、平成17年度から「熊本市地域福祉計画」及び「第2次熊本市地域福祉計画」に基づき、共通の基本理念のもと、地域福祉を支える関係地域団体の設立やボランティアの育成、各種相談支援体制の充実等、地域における基盤整備を重点的に進めてまいりました。

そして、今回の第3次計画におきましては、本計画と互いに補完・補強し合う関係にある熊本市社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」と、共通の理念・目的のもと、一体的に策定を行ったことにより、行政と社会福祉協議会それぞれの役割を明確化するとともに、より一層の連携を図ることができる内容となりました。

本市としましては、この計画に基づき、これまで形作られた地域基盤を活かしながら、更なる地域福祉の推進に取り組みたいと考えております。

最後になりましたが、本計画の策定にあたりご尽力いただいた策定部会の委員の皆様、並びに、住民座談会や地域福祉ニーズ調査において貴重なご意見、ご協力を賜りました市民の皆様方に心から感謝申し上げます。

平成27年3月

熊本市長 大西 一史

本市では、少子・高齢社会の一層の進行や人口減少、核家族化などにより、人と人とのつながりが希薄化し、近隣住民で支えあう互助の機能が脆弱化しています。また、介護や子育てをめぐる問題や深刻化する高齢者・児童虐待問題、ひきこもりや社会的孤立の問題など、生活・福祉課題が顕在化しています。



このような中、地域福祉の中核的な役割を担う社会福祉協議会では、校区の社会福祉協議会や自治会、民生委員・児童委員など、地域の皆様方と連携・協働を図りながら、誰もが健やかで安心して暮らせる地域づくりをめざして活動を展開してまいりました。

今回の第3次計画では、アンケート調査や住民座談会を行い、地域住民の皆様方が直面している生活課題を掘り起こし、その解決策を住民の皆様方とともに考え、ともに行動するための方向性について示しております。この計画をもとに、更なる住民の皆様方の参画と協働による地域福祉活動の推進を図り、人と人とのつながり、支えあう環境づくりをすすめるとともに、支援が必要な方へ適切な対応ができる体制づくりをめざしていきます。

最後になりますが、本計画策定にあたり、ご協力いただきました関係者・市民の皆様方に心から感謝申し上げます。

平成27年3月

熊本市社会福祉協議会会長 潮谷 愛一